

わんにゃん通信

2014
7月号

もうすっかり夏になりましたね！初めは頑張ってクーラーなしの生活だったのですが、少しずつクーラーを付ける回数が増えております・・・

同じ暑いならジメジメとしたものよりもカラッとした暑さがいいものです。

さて、今回はこの時期になると、より活動的になるノミとダニのお話です。



ノミ



● ライフサイクル

寄生したノミの成虫は 24～48 時間以内に卵を産み、その卵は落下し、カーペットや寝床などで孵化します。そして成虫になり、再び寄生し、卵を産み・・・と繰り返します。

● 病気

● ノミアレルギー性皮膚炎

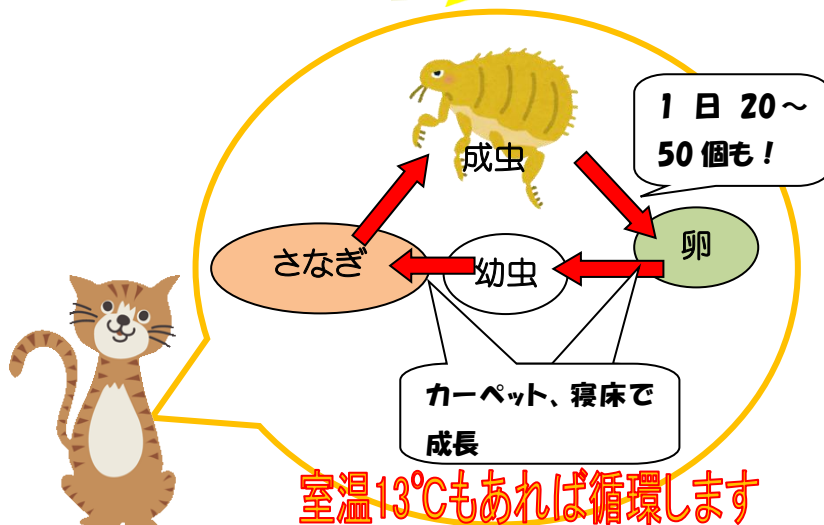
吸血により、唾液成分が体内に入ることによってアレルギー反応が起こり、激しいかゆみや湿疹、脱毛などを伴う皮膚炎。よく観察すると、動いているノミや糞が見られます。

● 瓜実条虫

ノミの幼虫が条虫の卵を食べ、その体内で発育します。そして成虫になったノミをグルーミングで食べてしまい、小腸に寄生し、下痢や嘔吐の原因に。虫体から切り離された米粒のような見た目で糞便や肛門周りに付着します。

● 貧血

大量寄生により貧血になることも。



家の中だけで飼っているからといって安心はできません。ちょっとした散歩の時や人間が外出時に持ち帰ってしまい、数匹のノミでもどんどん繁殖し、知らず知らずのうちにノミだらけ！なんてことも・・・

マダニ



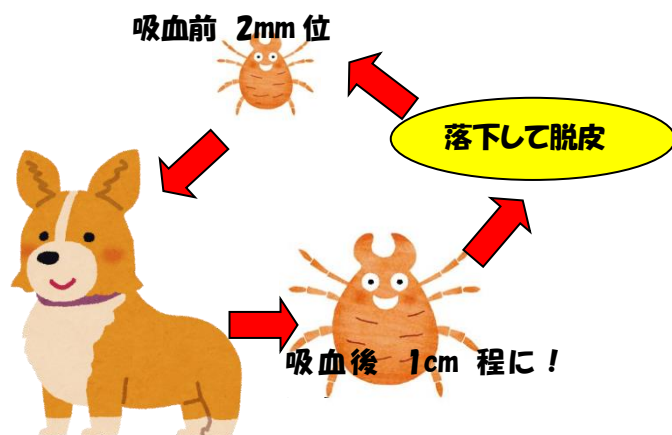
● ライフサイクル

藪や草むらに生息するマダニは、犬や猫の散歩の時に寄生し、吸血後に落下します。そして脱皮し、寄生を繰り返し、成ダニ→卵→幼ダニ→若ダニ→成ダニと成長します。

● 病気

● 犬バベシア症

マダニが吸血する際に、注入するバベシアの原虫が赤血球に寄生、破壊することによる貧血、発熱、食欲不振や黄疸などが見られる。死に至る場合もあります。



対策

● 駆除剤の投薬

スポットタイプの駆除剤などで定期的な駆除をしましょう。

● 犬舎やケージの掃除

使っているベッドなどは水洗いしたあとに、干して日光消毒を行います。特に畳やカーペットはこまめに掃除機をかけたり、定期的にバルサンを焚いて全体的な駆除をするのがお勧めです。



ノミがいたからといって潰してしまうと、お腹の中の卵を撒き散らしてしまう可能性があります。粘着テープに付けて捨てるか、洗剤を混ぜた水に付けて駆除しましょう。ダニの場合は無理に引っ張って取ろうとすると、口の部分だけが皮膚に残り、傷や皮膚炎の原因になります。慎重に全体を取るようにしましょう。

熱中症になりやすい時期です！

室内飼いの子は、部屋でクーラーを付けてあげ、外飼いの子は日陰のある涼しい場所へ。お散歩は涼しい時間帯に行き、新鮮な水をいつも飲めるようにたっぷり用意してあげましょう。

